

大阪学院大学高等学校剣道部 新型コロナウイルス感染拡大予防計画書

剣道部顧問：堀田伸介・古賀拓生・桑山俊子

1 剣道の活動について

剣道は竹刀を用いて相手の打突部を発声とともに打突する競技であるため、打突時には特に相手との距離も接近し、中には接触を伴うこともある。稽古時は一般的に対人で行うことが多いが、各人での鍛錬も可能である。よって本校剣道部では6月15日(月)からの稽古では、前述の各人での鍛錬に重きをおき、全日本剣道連盟の感染拡大予防のガイドライン(別紙資料)に従って段階的に活動していくものとする。

2 活動計画

日 時	内 容
6月15日(月)～6月20日(土)	生徒各自が状況に応じて必要と考えた内容を実施 (自主練習)
6月22日(月)～6月27日(土) ※23日より試験1週間前	
6月29日(月) ※試験1週間前	

※各日共に生徒の体力等の状況を見て2時間以内(更衣時間を含む)、試験前は1時間以内とする。

※面の着用は全剣連考案のシールド購入後とする。

※現在新入生の数が不明のため、15日は一度生徒たちを集め、間隔の確認を行う。万が一、間隔が取れないようであれば隔日での稽古に切り替える。

3 留意点

- ・稽古の参加は生徒の自由意志とし、決して強制はしない。
- ・参加者は親の了承を得ていることを確認する。(別紙)
- ・稽古時は必ず窓を開放し、換気を行う。(扇風機の設置を申請中)
- ・稽古開始終了時、手洗いうがいを徹底させる。
- ・本人または近親者に体調不良者がいる場合は、休むように指示する。
- ・更衣は道場内で行い、三密を避けるよう指示する。(女子は体育館1階の更衣室)
- ・使用する道具の共有は禁止する。
- ・水分補給時の回し飲みは禁止する。(共有用ドリンクは準備しない。)
- ・稽古開始前に全生徒の検温を行う。

4 さいごに

高校剣道で用いる竹刀は1本三尺八寸(117cm)あるため、生徒同士の竹刀が接触しない距離であれば裕に2メートル以上の間隔は取れているため、床にライン等による目印は必要ないと考えている。現在、全日本剣道連盟より対人稽古の再開も可能と通知されており(別紙資料)、本校剣道部の活動もそれに準じて段階的に対人稽古を解禁していこうと考えている。また、面に装着するマスクを開発されており、実用可能になればそれを剣道部として購入したいと考えている。

剣道部 保護者各位

大阪学院大学高等学校

剣道部顧問

堀田伸介 古賀拓生 桑山俊子

クラブ活動の再開について

入梅の候、保護者の皆様におかれましては、日頃より本校クラブ活動にご理解ご協力をいただきましてありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス禍の影響で本校クラブ活動が休止しましてはや3か月となりました。部員のお子様、並びに保護者の皆様も、現状の回復時期がいつになるか不安に感じておられることと思います。我々顧問、学校関係者共に、クラブ活動を通じたお子様の成長の機会をできるだけ早くもちたいと願いつつ、3月以来、新型コロナウイルス終息後の活動内容について日々話し合いを重ねて参りました。

そんな中、大阪府の緊急事態宣言も解除され、新型コロナウイルス禍終息の兆しが見えつつあることも踏まえ、本校剣道部の活動を、下記事項を踏まえつつ再開させていただく予定です。

なお、下記事項に記します通り、今回の活動再開内容は暫定的なものであり、現状も鑑みたまものということもあり、お子様、並びに保護者の皆様のご意志を最優先した、自由意志のもとでの活動参加、という形をとらせていただきたいと思います(あくまで強制参加ではありません)。その点、ご理解いただき、下記の承諾書をご提出ください。

記

1. 活動時期：6月15日より(暫定的に実施予定)
2. 活動時間：2時間以内(試験前は1時間以内)
3. 活動場所：旧校舎剣道場を予定
4. 活動内容：生徒各自が状況に応じて必要と考えた内容を実施(自主練習)
5. 徹底事項：
 - (1) 3密状態(密閉空間・密集場所・密接場面)を回避した活動内容の徹底
 - (2) 活動参加に対する強制意識植え付けの厳禁
 - (3) 身体的接触等を伴う練習の厳禁(段階的に解禁予定)
 - (4) 手洗い、うがい等の感染予防指導の徹底
 - (5) 使用道具の消毒指導および共用厳禁の徹底
 - (6) 他クラブとの活動間における、十分な時間確保、並びに換気活動の徹底

以上

-----キリトリ線-----

クラブ活動参加承諾書

上記の内容を理解し、剣道部活動(6月15日より)に参加することを承諾します。

()年()組()番 生徒名前()

保護者お名前() 印)